



ケンタ君

空中写真で昔の様子が分かるって聞いたけど？

航空機から地上を撮影した写真で、撮影当時の様子が
バッチリ記録されているぞ。



マップ博士

飛行機等の機体の底部に下向きに取り付けられた航空カメラから地上を撮影した写真のことで、航空写真または空中写真と呼びます（国土地理院では、空中写真と呼んでいます）。

空中写真は、主に地形図を作成するために撮影するものです。空中写真を用いた地形図作成手法の出現により、地形図の更新速度や精度は、飛躍的に進歩しました。また、撮影された空中写真は、大規模災害の被災状況把握や復旧・復興に役立てられており、現在では、昭和 11 年以降に撮影した約 140 万枚の空中写真を保有しています。空中写真は撮影した当時の様子をそのまま見ることができ、誰でも過去へタイムトラベルできる大変貴重な写真です。

【例示 1】

2020 年に東京で開催されるオリンピック・パラリンピックの会場の 1 つである、国立代々木競技場周辺の空中写真です。昭和 38 年の写真には、代々木競技場建設工事中の様子が写っています。



昭和 23 年 3 月 29 日撮影



昭和 38 年 6 月 26 日撮影



平成 29 年 8 月 23 日撮影

【例示 2】

この空中写真は宮城県名取市を撮影したものです。東北地方太平洋沖地震（平成 23 年 3 月 11 日）発生前と発生後の 2 時期の空中写真を比べることによって、地震により発生した津波被害の深刻な状況がとてもよく分かります。



平成 20 年 5 月 23 日撮影



平成 23 年 3 月 13 日撮影

これらの空中写真は国土地理院のホームページ（地図・空中写真閲覧サービス <https://mapapps.gsi.go.jp/>）で見ることができるほか、茨城県つくば市にある情報サービス館や全国 10 箇所にある地方測量部等の閲覧窓口で閲覧することができますので、ぜひ自分の見たい場所を覗いてみてください。

なお、さらに詳細な空中写真は購入（<http://www.gsi.go.jp/MAP/kounyu.html>）することもできます。

（地理空間情報部）